

【教科名】 聖書科

(1) 目指すもの

3年、または6年間聖書を学ぶことによって、本学院の根本理念である、キリスト教を重層的に理解する。キリスト教の持つ歴史性、高い倫理観、ユニークかつ豊かな思想と、創造力に触れることで、「道徳人、実力人、世界人」としての人間形成を目指す。

神への信仰と様々な学問的探究は、相反するものでなく、むしろ相互関係を持つものと、キリスト教信仰は理解する。神への信仰は妄信や不確かな思い込みであってはならないし、また、諸学問が追求している様々な真理を正しく理解するものでなければならない。それゆえ聖書科は、単に徳育・情操教育に留まらず、1つの学科として神学的にも学的意識の高い授業を展開する。

聖書科は、神に対しても世界に対しても広く開かれた明るい知性をもって思索し、判断することができる人間形成を目指す。聖書科の目標は「道徳人、実力人、世界人」としての「知性」そのものの陶冶といえる。

(2) 授業の進め方

基本的には講義形式だが、ビデオ教材や映画等を使用して理解を促進する。

聖書の題名や主の祈り、十戒や旧約・新約聖書の聖句等の小テストを実施し、キリスト教の基礎知識を理解する。

聖書科として、長期休暇時（夏、冬）における教会の礼拝出席を課題として出し、また毎週日曜の礼拝出席も奨励している。礼拝出席カードを学期末に回収し、礼拝出席は評価の対象にしている。教会出席カードは今年度も続ける。また教会との連携を深めてゆく。

☆教会出席については、各家庭の事情等を配慮し、柔軟に対応する。同時に、各個人が教会に出席し易い教会を紹介する等、丁寧に対応する。

(3) 使用教材について

中学1年、高校1年新入生には、聖書の基礎知識を知るために副教材として『聖書』（日本基督教団出版局）を使用する。

中学1年、高校1年新入生で、明治学院の歴史を学ぶ時には、独自の資料やプリントを用意して、配布し、知識を深める。

新約聖書・旧約聖書を学ぶ上での資料となる『キリスト教資料集』（日本基督教団出版局）を用い、中2,3年でも資料として用いる。

中学2,3年では、基本的には聖書に基づいた本校独自のテキスト・プリント等を独自に用意して、使用する授業もある。

高校では、基本的には聖書に基づいた本校独自のテキスト・プリント等を使用する。

【教科名】 聖書科

最終到達目標		聖書科は、神に対しても世界に対しても広く開かれた明るい知性をもって思索し、判断することができる人間形成を目指す。聖書科は「道徳人、実力人、世界人」としての「知性」そのものの陶冶を目指す。			
ST	学年	コース	授業目標	授業ポイント	使用教材
第1ステージ	中学1年		「キリスト教入門」 明治学院の歴史を学ぶことで明治学院で学ぶ意義を知る。 キリスト教について、また旧約・新約聖書についての概要を学ぶ。	キリスト教、聖書に初めて触れる生徒であることに注意し、丁寧に指導する。 学年行事と関連して授業を展開する。	『聖書』 『キリスト教資料集』
	中学2年		「イエス・キリストの生涯」 イエスの教え、たとえ話、奇跡物語など、福音書を中心にイエスの生涯とその教えや働きを知り、その意義を理解する。	新約聖書をめぐる歴史的背景や地理的条件、当時の文化などイエスの時代を多角的に理解させる。	『聖書』 『キリスト教資料集』
第2ステージ	中学3年		「旧約聖書入門」 創世記から世界・人間の意味を知る。 族長物語から信仰の生涯を学ぶ。 出エジプト記から十戒を学び、聖書の倫理を知る。	旧約聖書の基本的な世界理解、人間理解を学び、生徒の人間性や倫理意識等、社会性の発達を促す。	『聖書資料集』
	高校1年		移行生クラス 新約聖書から「初代教会の歩み」を学ぶ 新入生クラス 明治学院について キリスト教入門 旧約・新約聖書の概要を学ぶ	移行生クラス キリスト教の基本的な教えを理解する。 新入生クラス 明治学院について、また聖書に親しみを持つようにする。	新入生クラス 『聖書』 『キリスト教資料集』
第3ステージ	高校2年	理	*全コース共通 「旧約聖書」 旧約聖書の預言書、歴史を中心に学ぶ。 古代イスラエル王国の歴史を知る。旧約聖書全体の教えを網羅し、特に預言者の教えを学びながら、旧約聖書のメッセージを把握する。	古代イスラエル王国の歴史や文化をより深く知ること で、旧約聖書に示された聖書の信仰を知る。	
		文			
推薦					
第3ステージ	高校3年	理	*全コース共通 「キリスト教教理」 原始キリスト教団成立し、新約聖書が成立してゆく紀元1～2世紀におけるキリスト教の歴史的歩みを学び、 教理の基礎を理解する。2～5世紀間にキリスト教会がその成長と共にキリスト教教理を確立してゆく歴史を学び、基本教理（三位一体論、キリストの神人両性）について理解を深める。	高校最終学年としてキリスト教の基礎知識を確認する。 教理を学ぶことでキリスト教についての学問的知識と共にキリスト教信仰への真摯な態度を育む。	
		文			
		推薦			

【学年】 中学 1 年 【教科名】 聖書 【科目名】 聖書 【単位数】 1 時間

年間 指導 目標	キリスト教について、旧約・新約聖書についての概要を学ぶ。 明治学院の歴史を知り、キリスト教学校の意義を学ぶ。
----------------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	『キリスト教資料集』 『聖書』	はじめての聖書	聖書を学ぶ意義を理解し、キリスト教の由来を知る。 *1 学期中に「体験教会出席&レポート」を実施し、日曜教会出席を勧める。そのため授業で礼拝について、祈りについて、聖書についての基礎を学ぶ。
	期末		キリスト教入門	「神」「キリスト」「聖書」「信仰」「教会」など、キリスト教についての基本的な知識を理解する。
2 学期	中間		旧約聖書・新約聖書 入門	旧約新約聖書を概論的に学び、その信仰観を理解する。 アブラハム、モーセ、ダビデ王等を物語として紹介し、聖書に親しむ機会を持つ。
	期末		旧約聖書・新約聖書 入門	新約聖書を概論的に学び、その信仰観を理解する。 イエス・キリストの生涯を物語として紹介し、聖書に親しむ機会を持つ。
3 学期	学年末		明治学院とキリスト教	江戸時代末期～明治初期におけるヘボン博士の活動を中心としたプロテスタントキリスト教の動きを学び、明治学院誕生～発展の歴史的意義を把握する。 明治期～昭和初期にいたる明治学院の歩みを日本の近代・現代史と関連づけて学ぶ”

年間指導目標	イエス・キリストの生涯 イエスの教え、たとえ話、奇跡物語など、福音書を中心に学ぶことで、イエスの生涯における働きの意義と教えの内容について理解を深める。
--------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	『キリスト教資料集』 『聖書』	新約聖書の世界 歴史と地理	新約聖書をめぐる、歴史的背景や地理的条件、また当時の文化など、新約聖書の世界を多角的に理解する。
	期末		ナザレのイエス その生涯の活動	ナザレのイエスが登場した紀元1世紀の状況を把握し、ナザレのイエスの人物像を考察する。
2 学期	中間		ナザレのイエス その生涯の活動	イエスの生涯における教え、たとえ話、奇跡物語、人々との歩み、を学ぶことで、イエスについての理解を深める。
	期末		ナザレのイエス その生涯の活動	イエスの生涯……教え、たとえ話、奇跡物語、人々との歩み、を学ぶことで、イエスについての理解を深める。クリスマスに向けて、降誕物語を取り上げ、神の御子の誕生(受肉)の意義を学ぶ。
3 学期	学年末		ナザレのイエス 十字架と復活	十字架の死と復活を中心に、キリスト教の中心教義である「イエスの死による罪の赦し、神との和解、復活の生への希望を学ぶ。 また、イエスの復活によって、教会(キリスト教)が誕生し、全世界にイエスの教えが宣べ伝えられていった原始教会の歩みを学ぶ。

年間 指導 目標	旧約聖書入門 創世記から世界・人間の存在意義を知る。 創世記・族長物語から信仰の生涯を学ぶ。 出エジプト記・十戒から聖書の倫理を学ぶ。
----------------	--

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	『聖書資料集』	旧約聖書の世界 創世記1～11章	旧約聖書をめぐる、歴史的背景や地理的条件、当時の文化などを理解する。
	期末		旧約聖書の世界 創世記1～11章	創世記1～11章を中心に、その信仰を学ぶ。その中で、神と人間、人間と世界の関わりを、旧約聖書の視点を基に個々が思索できるように導く。
2 学期	中間		創世記12章以降 父祖の物語	アブラハム、イサク、ヤコブ等、イスラエルの父祖物語を学ぶ中で、旧約聖書の信仰、思想、文化を把握する。彼らの生涯を比較参照しつつ、自己の生涯を思い、人生の歩みを確立してゆくように導く。
	期末		創世記12章以降 父祖の物語 出エジプト記について	アブラハム、イサク、ヤコブ等、イスラエルの父祖物語を学ぶ中で、旧約聖書の信仰、思想、文化を把握する。彼らの生涯を比較参照しつつ、自己の生涯を思い、人生の歩みを確立してゆくように導く。 出エジプト記を学ぶ中で、旧約聖書の基本的信仰を理解する。
3 学期	学年末		出エジプト記と十戒	出エジプト記の「十戒」を学び、聖書の基本的な倫理観を学ぶ。また、その後のイスラエル民族の歩みをいくつか取り上げつつ、神の戒め(教え)と人間の関係を学び、旧約聖書的人間観を理解する。自己形成期にあつて、基本的な自己・世界理解や倫理、社会性等を学びの中で成長させる。

年間指導目標	移行生クラス 新約聖書から「初代教会の歩み」を学ぶ。 新入生クラス 明治学院について、キリスト教について、旧約・新約聖書についての概要を学ぶ。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期			移行生クラス イエス・キリスト 十字架の死と復活	紀元1世紀のローマ帝国やパレスティナ地方の歴史的・社会的背景を把握した上で、キリスト教信仰の基本的な教えである「キリストの十字架の死と復活」について学ぶ。
			新入生クラス 初めてのキリスト教 旧約聖書の基礎知識	『聖書』を用いて、聖書の世界について理解を深め、聖書の基礎知識を学ぶ。 旧約聖書の「天地創造」から始まる聖書の歴史観を学び、イスラエル民族の始まりから、出エジプトの出来事までに示された救済史を学ぶ。 *1学期中に教会を紹介して、日曜日の教会出席を促す。
2 学期		新入生クラスでは『聖書』『キリスト教資料集』を使用する。移行生クラスは聖書を使いつつ、必要な資料をその都度配布する。	移行生クラス 使徒パウロの伝道を (パウロ書簡)から学ぶ	使徒パウロの伝道活動を「使徒言行録」や彼の書簡(ローマ、コリント、フィリピ)から学ぶ。初代教会の抱えていた問題を知ること、現代を生きる我々の問題と重ねて深く考えるようにする。
			新入生クラス 聖書入門「新約聖書」	新約聖書に啓示された、イエス・キリストの生涯を通して、キリスト教の福音とは何かを知る。主イエスの誕生、山上の説教、たとえ話を学び、福音理解を深める。 *クリスマスに向けて特化した授業も展開する。
3 学期			移行生クラス 1～2世紀の教会 (公同書簡、ヨハネ黙示録)を学ぶ	12使徒や使徒パウロの没後、教会が様々な問題に直面し、特にローマ帝国からの迫害を受ける中でその信仰をどのように守りつつ活動していたかを学ぶ。それによってキリスト教信仰の神髄に迫る。
			新入生クラス 聖書入門(旧約聖書)	主イエスの受難～十字架の死～復活から福音の真髄を学ぶ。 江戸時代末期～明治初期におけるヘボン博士の活動を中心に、プロテスタントキリスト教の活動を学び、明治学院誕生～発展の歴史を知ると共にその意義を理解する。

年間指導目標	旧約聖書について 預言書、歴史を中心に学ぶ。 旧約聖書全体の教えを網羅しつつ、特に預言者の教えを学ぶことで、旧約聖書のメッセージを把握する。
--------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容
1 学期	中間	授業進度に従って、独自のプリントを資料として配布する	旧約聖書の人々 出エジプトと十戒	古代イスラエル王国期の歴史・社会・文化を学び、旧約聖書の背景をより専門的に理解する。
	期末		旧約聖書の人々 カナン侵入時代	古代イスラエル王国期の歴史・社会・文化を学び、旧約聖書の背景をより専門的に理解する。
2 学期	中間		イスラエル王国 統一時代	古代イスラエル王国期の歴史・社会・文化を学び、旧約聖書の背景をより専門的に理解する。その中で、活動した預言者たちを、その時代背景に照らし合わせつつ学び、彼らの思想や活動を把握する。
	期末		イスラエル王国 統一時代	古代イスラエル王国期の歴史・社会・文化を学び、旧約聖書の背景をより専門的に理解する。その中で、活動した預言者たちを、その時代背景に照らし合わせつつ学び、彼らの思想や活動を把握する。
3 学期	学年末		イスラエル王国 分裂王国時代と 預言者たち	古代イスラエル王国の崩壊～バビロン捕囚期～古代ユダヤ教団の成立期の歴史・社会・文化を学び、旧約聖書における信仰の深まりを理解する。また、新約聖書時代に至るまでの、歩みを知る。

年間 指導 目標	キリスト教教理の基礎を学ぶ。 紀元1～2世紀におけるキリスト教団、及び新約聖書の成立を学び、教理の基礎を知る。 紀元2～5世紀におけるローマ帝国内での教会の成長を歴史的に学び、その中で成立した キリスト教教理(三位一体論、キリストの神人両性論)を学ぶ。
----------------	---

学期	時期	使用教材	単元(章)	学習内容	
1 学期	中間		ナザレのイエス 十字架の死と復活	「史的ナザレのイエス」像を新約文書から検証し、イエスの生涯、特に彼の十字架と復活についての議論を整理する。 マタイおよびマルコ福音書の特徴とキリスト論を整理し、教理の基礎となるキリスト論を理解する。 * 中間試験を1学期のみ実施する。 * 聖書を学ぶ最後の学年として、キリスト教の基礎知識を確認するため小テストやレポートなどを課す。	
	期末		原始教会の イエス・キリスト像	原始キリスト教会の「イエス＝キリスト」信仰について、ルカおよびヨハネ福音書を概説し、各々のキリスト論を理解する。福音書成立時代における、教会や同時の社会状況等を把握し、学問的な知識と、キリスト教信仰への真摯な態度を育む。	
2 学期	中間		ローマ帝国社会とキリスト教会 AD2～3世紀	ローマ帝国社会とキリスト教会の関係について。ローマ人の宗教観、ローマ人が見たキリスト教観を学びつつ、2～3世紀のローマ社会の中での、キリスト教の定着・発展を学ぶ。 * 信条に親しむため、「使徒信条」を覚える。小テストを実施する。	
	期末		ローマ帝国社会とキリスト教会 AD3～5世紀	4世紀コンスタンティヌス帝以後のローマ帝国の歴史的状況を把握し、「ニケーア信条～カルケドン信条」成立の歴史的背景を理解する。「ニケーア信条」「カルケドン信条」の神学的特徴を解説し、キリスト教信仰の土台となる「三位一体論」「キリストの神人両性論」を理解する。	
3 学期	学年末				